

募集テーマ

アンコンシャス・バイアスの解消による寛容な地域社会の実現

分野

多様性と寛容性



①現状・課題

- ✓ 静岡県では、男女共同参画の推進により、誰もが性別に関わりなく個性や能力を発揮できる社会の実現に向け、様々な取組を行っている。
- ✓ 一方で、県民意識調査では「社会通念・慣習・しきたりなどで男性が優遇されている」との回答が7割を超えており、地域や家庭、職場において、地域社会に根強く残る性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が、地方で暮らす女性の活躍を阻害し、若い女性が県外へ流出する一因となっている。
- ✓ アンコンシャス・バイアスは、本人に悪意がなくても表れる無意識の思い込みであり、自分では気づきにくく、行動変容につながりにくいことが課題である。
- ✓ 特に、企業の管理職・経営層や自治会役員など、組織や地域の意思決定に関わる層の意識や行動が、制度・慣行・役割分担に大きく影響している。
- ✓ 今年度は、モデル的に県職員を対象としてAIを活用した対話型の意識調査により、組織としての傾向や課題を把握する事業を実施している。

②実現したい未来

- ✓ 地域、家庭、企業等において、アンコンシャス・バイアスへの気づきが広がり、誰もが性別にとらわれず、自分らしい生き方や役割を選択できる社会を目指す。
- ✓ 特に、企業の経営層や自治会役員の意思決定層が、日々の言動や組織運営にある思い込みに気づき、制度やルール改善につなげるといった行動変容が生まれる状態。
- ✓ 「第4次静岡県男女共同参画基本計画」において、以下を目標値としている。
 - ✓ 事業所の管理職に占める女性の割合を令和6年度（係長27.7%、課長17.2%、部長11.6%）⇒令和12年度（係長33%、課長24%、部長15%）へ。
 - ✓ 自治会長に占める女性の割合を令和6年度2.4%⇒令和12年度6%へ。

静岡県くらし・環境部男女共同参画課

募集テーマ：アンコンシャス・バイアスの解消による寛容な地域社会の実現

③民間企業との協業イメージ

- ✓ 企業の経営層・管理職層や自治会役員等を対象に、手軽に自身のアンコンシャス・バイアスに気づき、行動や組織の見直しにつなげられるような、サービス・ツールなどの仕組の提案

【想定する提案例】※あくまで例示であり、これに限るものではありません。

- ✓ 実践的ケーススタディを通じて、組織（企業、自治会等）で起こりうるバイアス事例を学び、具体的な対処法をトレーニングする研修ツール
- ✓ 部下との対話や組織運営等のロールプレイングを通じて、参加者のアンコンシャス・バイアスに基づく行動について客観的な評価と改善策を提示する診断ツール
- ✓ 個人の気づきや結果を集約することで、組織全体のアンコンシャス・バイアスの傾向や程度等を可視化できるもの

【提供可能なアセット（要相談）】

- ✓ 実証・試行に向けた県内企業・自治会へのアプローチ機会
- ✓ 男女共同参画に関するデータ等の情報提供

④担当部署／担当者コメント

アンコンシャス・バイアスの解消は、誰もが暮らしやすく、働きやすく、地域で力を発揮できる社会をつくるための基盤となるテーマです。

私たち自身も、このテーマに向き合う中で、これまで当たり前だと思っていた慣習の中に、無意識の思い込みがあることに気づかされてきました。

だからこそ、まずは一人ひとりが無理なく「気づく」きっかけを持てる仕組みを広げていくことが必要だと考えています。

県民一人ひとりが、静岡の暮らしに幸せを感じ、自分の可能性や能力を十分に発揮できる、そんな社会を実現するために、この取り組みを着実に広げていきたいと考えています。ご提案をお待ちしています！

関連取組の内容

